



センス・オブ・ワンダーを探して



対談

福岡伸一氏 x 上遠恵子氏



海洋生物学者で作家のレイチェル・カーソンの遺作『センス・オブ・ワンダー』は、不思議さに目を見張る感性を育むこと、地球の美しさや神秘さを感じる大切さを私たちに教えてくれました。その感性は、コロナ・パンデミックのいまこそ必要とされていると思います。講演テーマと同名タイトルの著作をはじめ生命の不思議さについて数多くの名著を発表されている福岡伸一さんが、生命の輝きとセンス・オブ・ワンダーについてお話しします。後半は『センス・オブ・ワンダー』翻訳者の上遠恵子さんと対談を行います。



福岡伸一(ふくおか しんいち)

生物学者。1959年東京生まれ。京都大学卒。青山学院大学教授・米国 NY ロックフェラー大学客員研究者。“生命とは何か”をわかりやすく解説した著書を次々と発表。代表作にベストセラー『生物と無生物のあいだ』、『動的平衡』シリーズ、『福岡伸一、西田哲学を読む』など。大のフェルメールファンとしても知られ『フェルメール 光の王国』がある。最新刊に『迷走生活の方法』『生命海流 GALAPAGOS』。朝日新聞に冒険小説「新ドリトル先生物語」を連載中。公式ツイッター @fukuoka_hakase
ノート <https://note.com/fukuokashinichi>

上遠恵子(かみとお けいこ)

エッセイスト、レイチェル・カーソン日本協会会長。東京薬科大学卒。1974年ポール・ブルックス『生命の棲家』(後に『レイチェル・カーソン』と改題)を訳出。以来カーソン研究をライフワークにする。訳書に『センス・オブ・ワンダー』『海辺』『潮風の下で』など。近著に『13歳からのレイチェル・カーソン』(監修)。他にレイチェル・カーソンに関する著書多数。



■日時 : 2021年10月9日(土) 14:00~16:15

<開場> 13:30 <開演> 14:00

■内容 : 第一部: 福岡伸一氏講演会 (14:00~15:00)

第二部: 対談 福岡伸一氏 x 上遠恵子氏 (15:15~16:15)

■参加費 : 1000円

■定員 : 100名 (事前申し込み順、定員に達し次第締切)

■会場 : 日比谷図書文化館 地下1F 日比谷コンベンションホール(大ホール)

■お申込み方法

日比谷図書館・日比谷カレッジホームページのお申込みフォームまたは電話(03-3502-3340)にて

①講座名 ②お名前(よみがな) ③電話番号をご連絡ください。

※小学生以下のお子様に参加される場合、保護者の同伴が必要です。
同伴者の方にも参加費が必要です)

★関連展示のご案内★

ぜひお立ち寄りください。

場所: 3F ホール

期間: 9月9日(木)~
10月24日(日)

1Fで書籍の販売も予定
しております。

* 今後の新型コロナウイルス感染拡大状況により、変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。



千代田区日比谷公園 1-4 (日比谷公園内)

<https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/>

都営地下鉄

●三田線「内幸町駅」A7出口/徒歩3分

東京メトロ

●丸の内線 ●日比谷線「霞ヶ関駅」B2出口/徒歩3分

●千代田線「霞ヶ関駅」C4出口/徒歩3分

JR線

「新橋駅」日比谷口(SL広場)/徒歩10分

①新型コロナウイルス感染拡大防止のため、下記の対策を実施していますのでご協力ください。

・ご入館時には手指の消毒、職員による検温、入館票のご記入(「貸出券番号」または「名前と電話番号」)をお願いします。

・館内では必ずマスクをご着用ください。

・会場定員は207名ですが、ソーシャルディスタンス確保のため定員を少なく設定し、募集を行います。

主催 : レイチェル・カーソン日本協会 関東フォーラム (<http://j-rcc.sakura.ne.jp/kantou>)

共催 : 千代田区立日比谷図書文化館 (<https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/>) 協力 : レイチェル・カーソンあびこ